

# 巻 頭 言

北海道札幌北陵高等学校長

二十一世紀は困難で先行きが不透明な時代です。この時代を乗り越えられる「人間力」を備えた生徒の育成が今、我々に強く求められています。そして、学校は、教育改革を見据え、家庭や地域と連携し、特色を明確化させ、魅力ある学校づくりに自主的に取り組み、生徒が学ぶこと生きること喜びを感じ、夢や希望の持てる学校運営を実践することが肝要です。そのためには、学校経営・運営の総合的な評価・改善を行い、地域や家庭の要望、生徒の実態を的確に把握し、多様な生徒の持つ可能性を引き出す教育活動の実践と生徒と熱く接し、生き生きとした授業を展開する教師の存在が不可欠です。

「教育は人なり」、「教育論は教師論に終わる」、また「正師を得ざれば学ばざるに如かず」(道元)、まさに我々教師の資質の向上と意識改革が緊急の課題です。

このような状況の中、本校は、平成16・17年度北海道教育委員会の「夢と活力あふれる学校づくり推進事業」で「学力向上フロンティアハイスクール」の指定を受け、関係機関、近隣の中学校・高等学校及び地域との連携により研究を続けてきました。テーマは、「進学+ $\alpha$ 」です。「 $\alpha$ 」とは、旺盛な探求心、豊かな表現力、高い運動能力、たくましいリーダーシップ等で、生徒が持っている一人ひとりの様々な能力や興味、関心そのものをいかに高めるか、将来は様々な分野のリーダーとして、この北海道、日本、世界で活躍していく生徒の育成を課題と捉え全校的な取り組みを実践してきたところです。

二年間で、①「授業で勝負」を合い言葉に授業改善②生徒のニーズに応えうる教育課程の見直し③評価の充実・整備、改善への積極的な取り組み④効果的なシラバスの作成・公開⑤校内・校外研修の充実⑥中高連携の強化⑦大学出張講義の活用、インターンシップの充実に研究を重ねて来ました。本実践報告書は、この研究活動の記録としてとどめたものです。

本事業に当初から指導・助言を賜りました北海道教育庁生涯学習部高校教育課、並びに石狩教育局の関係職員の皆様に感謝申し上げます。

ご一読いただき、本校の研究活動の発展のために忌憚のないご意見やご助言をいただければ幸いです。